

県産原乳のモニタリング検査結果について（第9報）

平成23年7月26日

千葉県農林水産部畜産課

電話 043-223-2930

県では、東京電力福島第一原子力発電所の事故に関連して、県内産原乳の安全性を確認するため、国の協力を得ながら、9回目の放射性物質モニタリング検査を行いましたので、その結果についてお知らせします。

今回、分析した原乳は、県内2つのクーラーステーション^{※1}で採取したもので、いずれも暫定規制値以下でした。

なお、県では、今後も定期的に検査を実施していく予定です。

<分析機関> 国立保健医療科学院（埼玉県和光市）

<分析結果>

単位：ベクレル/kg^{※2}

No.	採取日	品目	採取地	放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム (134と137 の合計)	分析結果
1	7月25日	原乳	千葉県新県央木更津クーラーステーション（木更津市）	検出せず ^{※3}	2.4	暫定規制値以下
2	7月25日	原乳	千葉県三和クーラーステーション（香取郡多古町）	検出せず	0.21	暫定規制値以下

<参 考>

暫定規制値（牛乳）

放射性ヨウ素：300ベクレル/kg、100ベクレル/kg（乳児用）^{※4}

放射性セシウム：200ベクレル/kg

注1 酪農家から集めた原乳を一時貯蔵する冷却タンクを備えた貯乳施設。ここから大型タンクローリー車で乳業メーカーの乳業工場に送乳する。

注2 ベクレル/kg：放射能の強さを示す単位で、単位時間（1秒間）内に原子核が崩壊する数を表す。

注3 「検出せず」とは、放射性物質が存在しないか又は検出限界値以下であることを示す。

検出限界値：放射性ヨウ素131 0.3ベクレル/kg

注4 放射性ヨウ素が100ベクレル/kgを超えるものは、乳児用調製粉乳及び直接飲用に供する乳に使用しない。

水産物（マイワシ）のモニタリング検査結果について

発表日：平成23年7月26日
農林水産部水産局水産課
電話 043-223-3038

県では、東京電力福島第一原子力発電所の事故に関連して、県内水産物の安全確認を行うため、モニタリング検査を行いましたので、その結果についてお知らせします。今回分析した銚子漁港のマイワシは、放射性ヨウ素不検出、放射性セシウム 16.6 ベクレル/kg（暫定規制値以下）でした。

分析結果

分析機関：（独）水産総合研究センター中央水産研究所

No	採取日	品目	漁港	放射性ヨウ素	放射性セシウム	分析結果
1	7月25日	マイワシ	銚子漁港	不検出	16.6 ベクレル/kg	暫定規制値以下

暫定規制値（魚）

放射性ヨウ素：2000ベクレル/kg

放射性セシウム：500ベクレル/kg

（注意）ベクレル：放射能の強さを表す単位で、単位時間（1秒間）内に原子核が崩壊する数を表す。

漁業団体が実施した水産物(カツオ)の放射性物質検査結果について

発表日：平成23年7月26日
全国近海かつお・まぐろ漁業協会
電話03-3295-3721

分析結果

分析機関：(独)水産総合研究センター中央水産研究所

No.	採取日	品目	操業海域	放射性ヨウ素	放射性セシウム	分析結果
1	7月23日	カツオ	房総沖南南東 約500km 北緯31度00分 東経138度00分	不検出	不検出	暫定規制値以下

暫定規制値(魚)

放射性ヨウ素：2000ベクレル/kg

放射性セシウム：500ベクレル/kg